

弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針（案）に対するパブリックコメントの結果について

募集期間：平成27年7月15日～平成27年8月4日

応募件数：3件（1名）

番号	応募方法	募集要件	意見等	回答
1	アイデアポスト	市内に住所を有する人	<p>P2. 「ICTの活用」について</p> <p>高校生以下の子供には、メディア・ネット環境に「メディア漬け（ゲーム漬け）、ネット（性・暴力）」の危険あり。紙の印刷された書物の読書／自らの力で文章を筆記する読み書きの教育を最重要とする事を忘れてはいけない。</p> <p>P6. 「お互いの価値観の違い」について</p> <p>価値観の違い／自由／権利も重要だが、「年長者への礼儀」「公私の区別」→騒いでいい場所、悪い場所／スマホ、ゲーム、読書しながら飲食しないマナー 「自分より弱い人→体が小さい。気持ちが優しい。大人しい」人には、強い態度「いじめ」し、自分より強い人にへりくだるのではなく、むしろ、逆になるような態度や言動を自らするように教育する（学校、家庭）→亡き小学校時代の校長「自分より強い者に立ち向かえ」朝礼。 「違い」でなく、当たり前の公共心として統一すべき価値観。</p> <p>P10. 通学について 自転車の乗り方</p> <p>自転車＝軽車両／原則は「車道の左側」／歩道を走るなら歩行者の前は徐行－歩行者に恐怖感させない。 「並進可」ない限り、友達同士でおしゃべりしながら並進できないし、「可」でも2台まで。 スマホなどしながら自転車しない。 全ての小中学校で全校教育要。</p>	<p>いただいた御意見のとおり、授業においては板書やノートに書くということなどは欠かすことができない大切なものです。</p> <p>これらをすべてICT（情報通信技術）で行うのではなく、ICTでなければできないことや効果的な活用については、実施していくことが重要だと考えています。特に、ICTを活用し画像や動画などを拡大したり、書き込みながら提示することにより、視覚的に分かりやすく伝えることができ、学習の理解や意欲が高められるなど教育効果が期待されています。現在、弘前市では、モデル校を選定し、ICTを活用した授業づくり等に関する研究を進めており、この効果等を検証、検討しながら、ICTを活用した授業での有効な活用や機器の整備に努めてまいります。また、情報モラルなどの情報教育の充実も図ってまいります。</p> <p>キャリア教育の重要な一つとして、自分と異なる考え方や価値観に出会った際には、拒否するのではなく、まずは「そういう考えもあるんだ」と理解することも大切であります。このような中で一人一人が「生きる力」を身に付け、しっかりと勤労観・職業観を形成し、様々な課題に柔軟かつたくましく対応する力、自立する力が培われていきます。一方、ご意見のありました公共心等道徳的価値については、学校における道徳教育として道徳の時間をはじめ全教育活動を通じ、発達段階に応じて指導しております。今後も引き続き、どちらも大切にしながら、子どもたちの道徳性を養う教育に取り組んでまいります。</p> <p>全ての小・中学校では、各学校が策定している学校安全計画に基づき、関係機関の協力を得ながら交通安全教室を実施し、自転車の安全な乗り方など、子どもたちに対して指導しています。</p> <p>交通ルールの意味及び必要性については、子どもの頃から指導することが極めて重要であります。より一層安全教育を推進していくために、学校、家庭、地域住民及び関係団体が一体となって取り組み、子どもたちが安全に安心して通学できる環境を整えてまいります。</p>

※「意見等」は、原文記載。